

要 望 書

南砺市長 田中 幹夫 殿

南砺市自治振興会連絡協議会

会 長 中 藪 淳



田中市長におかれましては、ご就任2年目を迎えられ、更なる南砺市の発展にご尽力いただいておりますことに、心から敬意を表する次第であります。

市長の市政運営の基本方針は、「市民が主役の市政」「常に市民目線にたった市政運営」「市民と行政の協働によるまちづくり」であり、積極的に地域に出向き、我々市民との対話の中で市政運営をいただいておりますことに、自治振興会をお預かりしている当協議会といたしましては、大変に心強く感じております。

さて、近年の少子高齢化の急激な進行と、それにもなう定住人口の減少は、自治会とその取りまとめを行う自治振興会の根幹を揺るがす事態となりつつあります。特に中山間地では高齢化率が50%を超える集落が急増しており、地域コミュニティの存続さえ危ぶまれる事態となっております。

しかしながら、市長公約の「市民と行政の協働によるまちづくり」の確実な実施に向けては、自治振興会が担う役割は少なくないものと考えております。自治振興会が地域活性化の核として、また、協働によるまちづくりの市民側の中心的パートナーとして、安心・安全な地域づくりに力を発揮できますように、次の点について平成22年度予算編成、並びに市政運営において格段のご配慮を賜りますようお願い申し上げます。



○予てありし。

② 個別受信機

・新個体法に合わせる!

もしはそれに替わる機器 TV電話?

1. 地域防災対策の推進について

○防災行政無線個別受信機の自治振興会長、町内会長、自治会長への配備

○自主防災組織の定期的な訓練に対する財政支援の拡充

安心・安全なまちづくりは、市民みんなの願いです。近年、地球を取り巻く環境は、著しく変化の中にあり、温暖化や気候変動の影響が、世界各地で住民生活に大きな悪影響を与えています。南砺市においても、一昨年には、今までに経験のない豪雨災害が発生しました。幸いに人命に係る被害発生には至らなかったものの、各地に大きな爪痕と教訓を残したことは、記憶に新しいところであります。

市内全地域には、有事の情報伝達手段として防災行政無線が完備されています。しかし、合併以前の整備のためによる老朽化や、個別受信機の配備の有無など、整備環境の違いが見受けられます。特に、個別受信機の配備は、豪雨時等で屋外の放送が聞こえにくい際に、直接情報を伝達する手段として有効であります。迅速で確実な情報の伝達は、いち早い防災活動の展開にその威力を発揮するものであります。

以上のような実情をご推察いただき、個別受信機を31自治振興会長、357町内会・自治会長に配備されますよう、格段のご配慮をいただきますようお願いいたします。

また、市当局におかれましては、災害が発生したときに被害を最小限度に防止し又は軽減するため、地域住民が必要な防災資機材等を利用して、初期消火、避難誘導、救護等の活動を行うために、自主防災組織の組織化を推進され、100%近い組織率が確立されておりますことは、誠に心強い次第であります。

今後は、安心・安全を守る体制の確立が形骸化せず、有事の際には、その役割が十分に発揮されることが重要であります。私ども自治振興会におきましても、地域住民の積極的な参加のもとに、これらの体制の確立の先頭に立って推進すべきと考えているところであります。

つきましては、以上のようなことから自主防災組織の定期的な訓練が行われるよう、計画性のある実施指導を財政支援も含めて、積極的に推進されますよう提案いたします。